

8:27 さて、イエスは弟子たちとピリポ・カ
イサリアの村々に出かけられた。その途中、
イエスは弟子たちにお尋ねになった。「人々
はわたしをだれだと言っていますか。」

8:28 彼らは答えた。「バプテスマのヨハネだ
と言っています。エリヤだと言う人たちや、
預言者の一人だと言う人たちもいます。」

8:29 するとイエスは、彼らにお尋ねになった。
「あなたがたは、わたしをだれだと言いま
すか。」ペテロがイエスに答えた。「あなたは
キリストです。」

8:30 するとイエスは、自分のことをだれにも
言わないように、彼らを戒められた。

8:31 それからイエスは、人の子は多くの苦し
みを受け、長老たち、祭司長たち、律法学者
たちに捨てられ、殺され、三日後によみがえ
らなければならないと、弟子たちに教え始め
られた。

8:32 イエスはこのことをばっきりと話された。
するとペテロは、イエスをわきにお連れして、
いさめ始めた。

8:33 しかし、イエスは振り向いて弟子たちを
見ながら、ペテロを叱って言われた。「下が
れ、サタン。あなたは神のことを思わないで、
人のことを思っている。」

8:34 それから、群衆を弟子たちと一緒に呼び
寄せて、彼らに言われた。「だれでもわたし
に従って来なければ、自分を捨て、自分の十
字架を負って、わたしに従って来なさい。

8:35 自分のいのちを救おうと思う者はそれを
失い、わたしと福音のためにいのちを失う者
は、それを救うのです。

8:36 人は、たとえ全世界を手に入れても、自

分のいのちを失ったら、何の益があるで
しょうか。

8:37 自分のいのちを買い戻すのに、人は
いったい何を差し出せばよいのでしょうか。
8:38 だれでも、このような姦淫と罪の時代
にあつて、わたしとわたしのことをばを恥じ
るなら、人の子も、父の栄光を帯びて聖な
る御使いたちとともに来るとき、その人を
恥じます。」

9:1 またイエスは彼らに言われた。「まこ
とに、あなたがたに言います。ここに立つ
ている人たちの中には、神の国が力をもつ
て到来しているのを見るまで、決して死を
味わわない人たちがいます。」

本やテレビまたはユチューブなどでは、知識
の乏しい人々がイエス様のことを様々に論じます
が、私たちはそれらに影響される必要はありません
。イエス様は「あなたがたは、わたしをだれだ
と言いますか」と問われます。弟子たちが話し合
いで意見をまとめ、それではありませんから、
「あなたがたは、それぞれ自分自身で、だれだと
言いますか」ということです。

自分自身の信仰が大切なのです。それもイエス
様が、「だれ」であるのかというところが一番重要
です。イエス様は主でも全能の主権者でしょう
か、それとも全能の主権者でしょうか。あなた
は、イエス様は主でも全能の主権者でしょうか。
主でも当てもありませんが、ペテロは「あなたは、
キリストです。」と明言しました。キリストとは、
油注がれた者という意味で、イスラエルでは王、
預言者、祭司を意味しました。イエス様は絶対的
な主権者である王、御父のみことと一つに語る
完全な預言者、そしてご自身をいけにえとしてさ
さげた永遠の祭司です。イエス様こそが私たちに
とって必要なお方です。

ペテロはイエス様への信仰を告白しましたが、
その救いのみわざについてはまだわかりませんで

した。十字架にかかって罪を負うという苦難
のキリストを知らなかったのです。そこでイ
エス様はご自分について来る者は、楽なこと
ではなくむしろ十字架を負う覚悟が必要と語っ
たのです。

私たちも信仰は十字架であるとの覚悟が必
要でしょう。なぜならこの世には真理に逆ら
う人が多いからです。この世にあつてもイエ
ス様を恥としないで、行きましょう。

①神のみどころは？（信仰のあり方、希望の
約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願
いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのど
の部分の主は扱おうとおられますか）

④この世にあつて何を実践しますか？

